

## 検 定 意 見 書

受理番号 107-123		学校 高等学校		教科 商業	種目 プログラミング	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	7	側注	豆知識 AIの画像認識機能の活用 ・音声認識は自動翻訳に利用される。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (音声認識が自動翻訳のみに活用されているように読める。)	3-(3)	
2	8	下図	衛生通信	誤記である。 (「衛生」)	3-(2)	
3	8	側注	●スマート農業 センサーやロボットによる生産の自動化を進めることで、食料自給率を向上させることを目的としている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (スマート農業の目的が「食料自給率を向上させること」のみに読める。)	3-(3)	
4	9	2 - 3	レーダーやカメラなどのセンサー技術とBDやAIを統合することで、自動走行システムが実現化する。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (センサー技術とBDやAIを統合することのみで自動走行システムを実現するように読める。)	3-(3)	
5	28	中図	合計360 以下 30ページ トレース表 5件目 total400	相互に矛盾している。	3-(1)	
6	60	26	「衝突(シノニム)の発生」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (衝突の同義語がシノニムと誤解する。)	3-(3)	
7	67	流れ図	②ループ2 j は i+1 から 1 ずつ増やして i<=5 の間	誤記である。 (「i<=5」)	3-(2)	
8	73	6	point (1) とpoint (2)	不正確である。 (「point」)	3-(1)	
9	104	側注1	1. 要件定義の定義と確認作業	生徒にとって理解し難い表現である。 (「要件定義の定義」)	3-(3)	
10	106 - 109		「(2)PMBOK (ピンボック)」 (全体)	羅列的になっている。 (具体的にプロジェクトマネジメントにどのように適用するのか説明がない。)	2-(12)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 107-123		学校 高等学校		教科 商業	種目 プログラミング	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	131	中上図	Visual Basic for Applications 134ページ中図 Visual Basic for Applications VBAProject Microsoft Excel	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
			135ページ下図 VBAProject 266ページ下表 VB 287ページ右段下 VB			
12	213	3	「index.html」 以下 上囲み GET送信プログラム1 ファイル名「index.php」	相互に矛盾している。	3-(1)	
13	213	8	http://localhost/prog/answer.php? favorite="犬" 及び 215ページ3行目	不正確である。 (「prog/」)	3-(1)	
			http://localhost/prog/answer_post. php			
14	213	8	http://localhost/prog/answer.php? favorite="犬"	不正確である。 (「"犬"」)	3-(1)	
15	214	下	受け取ったデータを表示するプログラ ムの解説 及び 215ページ1行目	不正確である。	3-(1)	
			POST送信のプログラムの解説			
16	220	囲み	ユーザー登録フォーム プログラム23 ～24行目 //入力欄に空白がある場合の処理 if(\$name==''){	相互に矛盾している。 (入力された名前にスペースが入っていても該当す る。)	3-(1)	
			以下 221ページ kakunin.phpの解説 名前を入力欄に空白がある場合は'名 前が入力されていません' と表示す る。			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 107-123		学校 高等学校		教科 商業	種目 プログラミング	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
17	221	上	kakunin.phpの解説 ① \$_POST [' name' ] でname をセッション変数に登録する。 及び	誤りである。 (「セッション変数に登録する。」)	3-(1)	
			223ページ上 thanks.phpの解説 ① \$_SESSION [' name' ] でname をセッション変数に登録する。			
18	222	囲み	データベースへの登録の6行目 <link rel="stylesheet" href="/css/style-kakunin.css" type="text/css">	相互に矛盾している。	3-(1)	
			以下 データベースへの登録画面のスタイル のファイル名 「style_kakunin.css」			
19	228	囲み右上	ファイル名「mobile」	不正確である。 (拡張子がない。)	3-(1)	
20	243	右図	半加算器の図 AND回路の記号 XOR回路の記号 以下 右上図 AND回路の記号	表記が不統一である。	3-(4)	
			右中図 XOR回路の記号			
21	247	下表	ASCIIコード表 4列15行「0」	誤りである。	3-(1)	
22	249	下図	①命令フェッチ ④オペランドフェッチ	生徒にとって理解し難い表現である。 (「フェッチ」の説明がない。)	3-(3)	
23	251	20	命令後	誤りである。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 107-123		学校 高等学校		教科 商業	種目 プログラミング	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
24	266	16 - 18	高水準言語で書かれたプログラムを機械語に変換するコンパイラ，高水準言語で書かれたプログラムを機械語に変換しながら同時に実行するインタプリタがある。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (インタプリタが機械語に変換するように読める。)	3-(3)	
25	271	25 - 27	パスワードと第二パスワードによる二要素認証なども存在するが，どちらも知識による認証を用いるため，厳密な意味では多要素認証とはいえない。	生徒にとって理解し難い表現である。 (多要素認証か多段階認証かわからない。)	3-(3)	
26	284	5	大学入学共通テストで利用されているプログラム表記とマクロ言語の対照表の例です。  表 共通テスト用プログラム表記	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (大学入学共通テストのみで利用されるプログラム表記例に読める。)	3-(3)	
			285ページ 下 共通テスト用プログラム表記			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 107-124		学校 高等学校		教科 商業	種目 プログラミング	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	18	中図	ハードディスク装置の構造 右 アクセスアーム	不正確である。 (指している先)	3-(1)	
2	118	下囲み	構文 If 条件式 Then 命令文1 (以下 左下 ※条件式1がTrueであれば命令文1を	相互に矛盾している。	3-(1)	
			, )			
3	118	下囲み	右の吹き出し もし例3で「If kensu >= 30 Then ~ Ninki="△"」を先に (以下 例3 ElseIf Kensu >= 30 Then	表記が不統一である。	3-(4)	
			Ninki="△")			
4	125	例題4- 3-03	売上高(単位:千円) ■出力結果 日曜日 90000 ... 売上高合計 480000 (以下 126ページ上	相互に矛盾している。	3-(1)	
			売上高(単位:千円) ... 売上高合計(単位:千円) 126ページ下 売上高(単位:千円) ... 日曜日 90000 ...			
			売上高合計(単位:千円) 480000 129ページ プログラム14行 Urikin & "円" & ... プログラム17行			
			Goukei & "円" & ...)			
5	132	中囲み	実習問題4-3-02 (以下 154ページ1行 実習問題4-3-03)	生徒にとって理解し難い表現である。 (115ページの4章第3節からここまで「実習問題4-3-01」が存在しない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 107-124		学校 高等学校		教科 商業	種目 プログラミング	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
6	138	1	①ファイルの入力処理 (以下 135ページ1行 ①終了判定による繰り返し)	生徒にとって理解し難い表現である。 (見出し①が二つめ)	3-(3)	
7	138	下囲み	プログラム内ではそのファイル名でファイルを指定する。	不正確である。 (「ファイル名で」)	3-(1)	
8	156	中囲み	③1から100までの和を～空欄にあてはまる数字を答えなさい。	不正確である。 (③の欄は数字にはならない。)	3-(1)	
9	161	側注	配列Knenを整数型で宣言した場合、&を使えば勤続年数に“年”を付けて	不正確である。 (「整数型で宣言した場合、&を使えば」)	3-(1)	
10	213	4 - 5	比較には変数を利用し、事前に配列の先頭の要素の値を比較元として変数に格納しておく。 (以下 7-9行 変数には配列の先頭の要素と重複しな	相互に矛盾している。	3-(1)	
			い値を初期値として設定しておくようにする。 流れ図 左下 9999→tmp)			
11	228	図上	①Suu(0)は整列済みと考え、～整列済み範囲へのTmpSの挿入 右図 Suu(1)の上にj, Suu(2)の上にi	不正確である。 (②～④の処理と挙動が異なる。)	3-(1)	
12	285	9 - 10	電話番号は数字とハイフン(-)を含めて12文字とする。 (以下 283ページ例題6-2-01 電話番号 080-XXXX-1111)	相互に矛盾している。	3-(1)	
13	293	21	文法を土台して、	脱字である。	3-(2)	
14	303	側注1	数字が小さいほど優先順位が高く、同順位であれば左に書かれたものが優先される。 … (3) *, /, //, %	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「左に書かれたもの」により、例えば「*」は「/」より優先が高いと誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 107-124		学校 高等学校		教科 商業	種目 プログラミング	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
			(4) +, -			
15	313	側注	dir関数の使用例 1 a = 10 2 print(dir(a))  length', 'conjugate',  denominator',	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (aにlengthというメソッドはない。)	3-(3)	
16	328	左上	実行アドレス (以下 33ページ6行 実効アドレス)	表記が不統一である。	3-(4)	
17	328	中下	タ次元配列	誤記である。	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。